

オーストラリアのエッセンスが3分で分かる

清水の

# 豪援隊かわら版



清水ヒデキ

豪援隊長・

弁護士・移民コンサルタント

(MARN: 9900985)

「オーストラリアから日本を援けよう」と豪援隊発足。16歳に単身オーストラリアに留学。その後ボンド大学卒業後、QLD州弁護士資格取得。長年に渡り、日本人ならびに日系企業、世界各国のクライアントのコンサルタント業務に従事。

## <今月のジョーク！>

**その1;** 先日、父はメガネを作りに行った際、「無色ですか？」と店員にレンズの色を聞かれると、何を勘違いしたのか、「いえ、銀行員です」と、自分の職業を答えていた。

**その2;** 友達に「就職活動の資料請求の際、葉書に企業名の後は「様」ってつけるの？」と聞かれたので「御中(おんちゆう)の方がいいよ」と言ったら「〇〇会社 WantYou」と書いて本当に投函してしまったらしい。その後彼は「資料が届かない～」と嘆いていた。

**その3;** 先日、父は、男にフラれて落ち込んでいた姉をなぐさめようとして、「おまえ、人間は顔じゃないぞ」と言うところを、「おまえの顔は人間じゃないぞ」と言ってしまった。

**その4;** 夫婦ゲンカのとて、父が母に「バカモノ！」と言うのを間違って、「バケモノ！」と怒鳴ってしまった。ケンカはさらにひどくなった。

(ジョーク集より)

## 「2012年を迎えて」

皆様、あけましておめでとうございます。本年も引き続き御鼻頂いただけるよう、よろしくお願ひ致します。

さて皆様にとっての2012年は、どのような年になるでしょうか。この時期、今年がどの様になっていくか、様々な予想を見ます。世界的に経済が、ますます混乱するのではないかと、北朝鮮が暴走をし始めるのではないかと、またはマヤ暦では今年が最後の年とされているため、世の中が終わりを迎えるのではないかとという予想まで、いろいろです。筆者は2012年は、「調整の年」になるのではないかと考えています。

2011年は、ある意味いろいろなものが破壊された年であったような気がします。絶対大丈夫と信じていたアメリカ経済、アメリカに対抗できるはずのユーロ圏の混乱、原発安全神話の崩壊、金成日政権の終わり等々。今までは考えられなかった事が、次から次へと起こった年でした。身近な事件ではプリズベンを襲った大洪水も、たくさんものを破壊してしまいました。これも、昨年の出来事です。

そうした全ての終結を迎えた出来事に対して2012年は新たなチャプターが始まろうとしています。アメリカの経済も、少しずつその底力を戻しつつあります。ユーロのドタバタも、新たなユーロ圏の改編で世界的混乱は何とか避けられるかもしれない望みが出てきました。東北の震災、プリズベン大洪水の後、多くの人は破壊された家屋や流された家財道具等の後始末から、改めて人の温かみ、人間性の重要性に気づかれたのではないのでしょうか。

今までの常識が破壊された昨年。年頭に思うことは、我々の暮らすこの社会のよろさと、その反面、どんな状況であってもそれを乗り越えようとする人間のひたむきさです。いろいろな「調整」されることで、世の中は混乱するでしょうし、必ずしも皆にとっていいことばかりではないかもしれませんが、例え、マヤの予言通り、今年世界が破滅することになっても、破滅の直前にいい人生を送ることができたと思えるようにいろいろな人々に感謝をし、家族を大切に、少しは奥さん孝行もしてやれる後悔のない1年にしたいと思っております。(たぶん、うちの家族からは興味悪がられると思いますが(笑)。この歳になり、当方の中学校の校訓であった「今に生きる」という、言葉も中学生当時は良く分からないままでしたが、大人になってはじめてその意味の奥深さに納得しています。

どうか、皆様良いお年を。

## 今月の注目記事>

(資源業界の好況の影で悩む農家 Australian Migration Alliance Newsletter 2012年1月4日付)

資源業界の好況については、今までに何度もこのかわら版でも紹介してきましたが、やはり、その好況の陰に悩む業界もあるようです。

多くの資源会社はかなりの高給で人材を確保しており、そのために特に地方の農家ではきちんとした働き手が確保できなくなっているとのことです。QLD州のFarleighというサトウキビ畑農家では、子供たちは都会に働きに出るか、給料のいい資源会社に働きに行ってしまう17歳になった今も現役で働かざる負えない状況であるそうです。

それから、Narrabiという街の養豚場の経営者も地元からは適した人材がなかなか見つからないので、大変苦労していたのですが、海外へその働き手を求めることで、その問題が解消されつつあるといいこと。現在では、カンタス航空の機内食で出されるベーコンはその養豚場からの豚が使われ、最近ではAustralian Farmer of the Yearに選ばれたということです。

オーストラリア農業協会の会長のJack Laurie氏はオーストラリアの畜産農業は、様々な条件より状況が良くなってきており、今年は少なくとも前年比で輸出量6%増は望めるとコメントしています。

やはり、そうなるとう働き手に困る農家はますます海外からの働き手に期待するものと考えられ、そこに海外移住、永住件取得のチャンスも存在していると思われます。すでに地方の農家ではイギリス人、アイルランド人の若者がそうした農家で働きながらビザを取る傾向が多く見られています。政治経済、環境の変化によって移民政策も変わっていきますので、これから永住権の取得を考える方はそうしたことも検討しながら計画を立てる必要がありそうです。

このかわら版、またはビザに関する質問、お問い合わせは、こちらまでお気軽に！



ALC ビザコンサルタント

QLD州以外の方にも、ご利用しやすくなりました！

ゴールドコースト事務所 住所: Suite7, 155 Varsity Parade Varsity Lakes QLD 4227

シドニー事務所 新規オープン！ 住所: 24 Lewis Way Newington NSW 2127

電話: 1300 365 811, +61-7-5630-6505, Fax: +61-7-3319-6131 (担当: 関)

E mail : [info@alcvisa.com](mailto:info@alcvisa.com) Website : [www.alcvisa.com](http://www.alcvisa.com)

新規オープン！

東京事務所 (担当: 西川・松本)

〒170-0013

東京都豊島区東池袋

4-25-12 池袋今泉ビル 6F

電話: +81-3-3985-6003

Fax: +81-3-3985-6009